

## 臨床研究

「緩和ケアを実践する看護師の共感満足と質の高い終末期ケアを両立できる職場環境を明らかにする横断研究」について

筑波大学附属病院緩和支援診療科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

本研究の目的は、緩和ケアを実践する看護師において職業上の Quality of Life (QOL) を構成している共感満足（人々を援助することや職務をうまく行うことにより得られる職業的な喜び）を高めつつ、質の高い終末期ケアを患者さんに提供するための職場環境の因子を明らかにすることです。

### ② 研究対象者

一般病棟、緩和ケア病棟、訪問看護のいずれかの職場で勤務する看護師

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後から 2025 年 3 月 31 日まで

### ④ 研究の方法

本研究の調査はオンラインで実施し、対象者には QR コードもしくは URL の直接入力によりアンケートにアクセスした後、順に回答していただきます。

### ⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

対象者の基本情報、職業上の QOL、終末期ケアの質、個人・職場環境に関する項目が含まれます。

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

他の機関へ情報や試料は提供されません。

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

東端 孝博（筑波大学附属病院 緩和支援診療科 病院助教）

### ⑧ 本研究への参加を希望されない場合

調査に参加しない場合に不利益はありません。調査参加の同意を得た後に同意の撤回を表明する場合には、下記の間い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### ⑨ 研究協力機関の名称

筑波記念病院、霞ヶ浦医療センター、神栖済生会病院、水戸協同病院、北茨城市民病院、笠間市立病院、筑波メディカルセンター病院、志村大宮病院、取手北相馬保健医療センター医師会病院、辻仲病院柏の葉、東葛病院、坪井病院、水戸済生会総合病院、友愛記念病院、つくばセントラル病院、水戸赤十字病院、土浦協同病院、竹田総合病院、日立総合病院、国立がん研究センター東病院、訪問看護ステーショングリーンハウスひたちなか、訪問看護ステーション

TERMS、済生会訪問看護ステーションかみす、勝田病院訪問看護ステーション、訪問看護ステーションたんぽぽ、訪問看護ステーションかけはし、おおみや訪問看護ステーション、在宅看護センター和音、ゆうあい訪問看護ステーション、訪問看護ステーション愛美園、訪問看護ステーションいしげ、ウララ訪問看護ステーション、訪問看護ステーションさとみ、のぞみの花クリニック、こすもす訪問看護ステーション、わごころケアセンター、みぬま訪問看護ステーション、つくば訪問看護ステーション、訪問看護ステーションサイトピー、訪問看護ステーションやまびこ、訪問看護ステーションうしく、訪問看護ふれあいサテライトなの花、訪問看護ふれあい、訪問看護ステーションかさま、エムズ訪問看護ステーション、訪問看護リハビリステーションゆめみらい

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：緩和支援治療科 東端 孝博

電話・FAX：029-853-3691 平日 9～17 時

E-mail：higashibata.takahiro.na@ms.hosp.tsukuba.ac.jp